

令和6年(2024年)3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道余市紅志高等学校長 生 田 仁 志

次のとおり令和5年度(2023年度)の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1	社会的自立のための目標を持ち、主体的・協働的に深く学び行動する生徒の育成
2	地域に愛着を持ち、自他を尊重し、思いやりの心を持つ生徒の育成
3	生命を大切にし、心身を鍛え、自信と根気を持って生きる生徒の育成

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
<p>【学校経営】</p> <p>1 学校や保護者の目標は生徒の実態や地域の期待を踏まえて、重点目標達成の意識を持って、日々行っているか。</p> <p>2 重点目標や経営方針は、学校の課題の解決に役立っているか。</p> <p>3 学校行事の事前事後の振り返りが適切に行われているか。</p> <p>4 内容評価は適切か。</p>	<p>令和元年度より「地域」との連携、協働を踏まえた重点目標を策定し、取り組んできた。教職員による自己評価で「生徒の実態や保護者・地域の期待を踏まえているかどうか」について、昨年度より更に15ポイント改善され、100%が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」となった。引き続き、生徒の実態や保護者・地域の期待を踏まえた教育に努めたい。</p>	<p>保護者アンケートの「教育目標は生徒の実態や保護者・地域の期待を踏まえたものになっており、教職員が重点目標達成のために教育活動に取り組んでいるか」の問いに対して、保護者の評価が昨年度よりも更に5ポイント上昇した。学校評議員会では、次のような意見があった。・余市紅志高校は十分に魅力のある学校だと思うので、いかにそのことを生徒に意識させることが重要ではないか。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・他校種や地域との連携を深め、地域から期待される必要とされる魅力ある学校づくりを推進する。 ・「学ぶ喜び」を実感させることにより、主体的な学びをより一層推進する。 	
<p>【学習指導】</p> <p>5 生徒の基礎・基本的学力の定着と授業改善の取り組みが、各系列の特色をいかして、生徒の学習意欲を高めることに効果的か。</p> <p>6 選択授業の充実や、生徒の個性や能力に応じた指導が行われているか。</p> <p>7 生徒の学習成果を適切に評価し、次の学習につなげられているか。</p> <p>8 特色ある授業や活動の推進が、生徒の個性や能力の向上に効果的か。</p>	<p>令和5年度の北海道高等学校学習状況調査において「家で自分で計画を立てて勉強している」は全道平均を上回り、「学校の授業時間以外の1日あたりの勉強時間」も改善が見られるなど、学習面での向上が見られる。また、学習状況調査では英語、国語において全道平均を上回る結果に繋がっている。</p>	<p>保護者からは「生徒の基礎・基本的学力の定着」、「丁寧で分かりやすい授業の実施」について、昨年度に引き続き85%以上が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」となっている。学校設定科目「キャリアスタディ」による個性に合わせた学習活動や「学び直し」の取組等により評価を得られたものと考えられる。校評議員会で次のような意見があった。・今年度から実施している「空き時間(SUタイム)」について、生徒が自分たちで学習方法やクラスレク等を考えて活動をしており、自分たちで考える力が付く活動になっている。</p>

<p>改善方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びへ向けた授業改善と観点別評価の効果的な運用に向けて研修等を行う。 ・タブレットの有効活用についても研修を深めていく。 	
<p>【生徒指導】 9 基本的な生活習慣を身に ついで行われたい。家庭・ 10 地域・関係が適切に 11 個別に行う教育的な 12 学校行事、生徒会活動、 農業クラブ活動、部活動 ポラ主体の意欲的 13 学校行事の日程や内容は 適切で、生徒が充実 た高生を 計画実施</p>	<p>教職員による自己評価 で「生徒指導について家庭 ・地域・関係機関との連携 の下、適切な対応が図られ ているか」について、3年 連続で94%以上が「そう 思う」、「どちらかといえ ばそう思う」と回答してい る。スクールカウンセラー との連携により教育相談 の充実を図り生徒理解、生 徒支援ができています。部 創生会活動や部活動の 創意工夫と柔軟な対応が 必要である。</p>	<p>学校評議委員会で次の ような意見があった。 ・小規模校の利点を活かし、 一人一人の特徴を知った上 で指導をしている。 ・生徒数の減少により部活 の存続など危惧するが、今 後の在り方についての検討 に期待する。</p>
<p>改善方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー活用も 含め、効果的な教育実践で きるよう努める。 ・生徒数が減っていることか ら、同好会を含めた部活の 在り方について検討してい く。 ・保護者、地域の声にはしつ かりと耳を傾け、要望や 相談にはていねいに対応 していく。 	
<p>【健康安全】 14 生徒の健康の保持と体力 向上を適切に行われたい 15 ネットトラブルの未然防 止・薬物使用・防犯・交通 安全など、校内・校外の 16 校舎内外の美化・設備の と管理が適切に行われたい</p>	<p>健康安全教育及び心身の 健康指導、校舎内外の美化 ・維持管理については昨年 度引き続き、概ね適切に 対応ができています。また、 ネットトラブル等については、 未然防止の観点から安全 教育を更に進めていく。 と連携し効果的な面談等 を実施し、生徒理解に努 める。</p>	<p>ネットトラブルの未然防 止・薬物使用・防犯・交通 安全などの安全教育につ いては、適切に実施されて いるかについて、学校評 議委員が100%、保護者 については93%が「そう 思う」、「どちらかとい えばそう思う」と回答し ている。日常的な評価され たと考えられる。</p>
<p>改善方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の高校生を取り巻く 状況と連携して健康安全 教育の充実を図っていく。 ・情報モラルや交通安全、 いじめ対策などについて、 講話や学校行事・生徒会 活動の機会を活用し充実 を図る。 	<p>状況を適確に踏まえ、保 護者、地域とも連携して 健康安全教育の充実を図 っていく。</p>
<p>【進路指導】 17 各年次に、キャリア 観を身に付けたい 18 進路や保護者、生徒 19 内容で、生徒の進路 で、た</p>	<p>3年間を見通した進路 指導により、生徒の進路 に対する取組が促された。 次年度も進路意識の向 上を促すとともに、進路 指導を継続して実施す る。</p>	<p>「三者面談や個人面 談を通して、学校と保護 者の連携については、保 護者の評価の93%が「そ う思う」、「どちらか といえは高い評価を得 ている。」</p>

